

リフ・ラフ (1991)

RIFF-RAFF

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 イギリス

色彩 Color

時間 94分

初公開日 1993/12/25

公開情報 シネカノン

【解説】

'68年の「夜空に星のあるように」以来、なんと25年ぶりの日本公開となったK・ローチ作品。その間にも“KESS”（「少年と鷹」の題でTV放映、後に「ケス」として劇場公開），“LOOK AND SMILE”などの戦後英国映画を代表する傑作を放っていた彼なのだが、それらは日本では特殊な形で公開されただけである。政治的には左派であり、映画にもその芯ははっきり感じられるが、教条臭い所は皆無。透明な眼差しと深いユーモアで市井の人々の日常を描くのが彼の作風であり、下層民を軽蔑して言う題名からもまさに、そのアイロニーは伝わる。

グラスゴー出身のスティーブ（R・カーライル）は刑務所を出て、ロンドンの建設現場に職を見つけるが、そこは全くの掃きだめ。賃金は安く、労働条件は最低だった。ある日、拾ったバッグを届けたことから知り合った歌手志望のスーザン（E・マッコート）と一緒に暮らし始めた彼。ケンカばかりの不器用な愛し方しかできない二人だったが、いつしか堅い絆を育んでいた。そんな時、スティーブに捜索願いが出ていることが分かった。彼の母親が亡くなったのだ……。

働く者同士の暖かい連帯がそこはかとなく、若くふらつきがちの二人の愛を支えるさまが微笑ましく語られる。ローチ流リアリズムがそこにあるのだ。'91年カンヌ国際批評家賞他受賞。

【クレジット】

監督	ケン・ローチ	Ken Loach
製作	サリー・ヒビン	Sally Hibbin
脚本	ビル・ジェシー	
撮影	バリー・アクロイド	Barry Ackroyd
音楽	スチュワート・コーブランド	Stewart Copeland
出演	ロバート・カーライル	Robert Carlyle
	エマー・マッコート	Emer McCourt
	リッキー・トムリンソン	Ricky Tomlinson